

肢体不自由者の心理・生理・病理

【講義】 第2学年 後期 選択 特支必修 2単位

《担当者名》菅原 道彦（非）

【概 要】

本科目では、肢体不自由とは何か、肢体不自由児の特性(心理・生理・病理)、肢体不自由児の教育的支援について学ぶ。

【学修目標】

1. 肢体不自由の基本的事項について理解し、問題意識を持って考えることができる。
2. 肢体不自由児の特性について記述し、説明することができる。
3. 肢体不自由児の姿勢・運動を模倣することができる。
4. 肢体不自由児の家庭や医療機関との連携の重要性について理解する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション、障害とは	障害の定義、ICIDH、ICF、F-ward	菅原
2	肢体不自由とは	肢体不自由の定義、原因、疫学	菅原
3	身体の構造と機能	身体の構造、身体の機能、病理、生理	菅原
4	身体の構造と機能（実習）	身体の構造、身体の機能の確認	菅原
5	姿勢と運動	姿勢の表し方、関節運動の表し方	菅原
6	姿勢と運動（実習）	姿勢の表し方、関節運動の表し方の確認	菅原
7	運動発達	乳児の粗大運動発達、心理的発達	菅原
8	運動発達（実習）	乳児の粗大運動発達の確認、肢体不自由児の感覚特性、知能の発達、認知の特性	菅原
9	脳性麻痺 1	脳性麻痺の定義・原因・疫学、肢体不自由の状態	菅原
10	脳性麻痺 2	脳性麻痺の分類、特性	菅原
11	筋ジストロフィーの心理、生理、病理	筋ジストロフィーの定義・分類、特性	菅原
12	脊髄損傷、二分脊椎、の心理、生理、病理	脊髄損傷、二分脊椎の定義・分類、特性	菅原
13	切断、骨関節疾患の心理、生理、病理	切断、骨関節疾患の定義・分類、特性	菅原
14	補装具、車いす	義肢、装具、車いす、歩行器など	菅原
15	肢体不自由児の姿勢と運動（実習）、家庭・医療機関との連携、まとめ	肢体不自由児の姿勢と運動の確認、肢体不自由児の特性のまとめ、家庭や医療機関との連携の重要性	菅原

【授業実施形態】

面接授業

※授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

授業への参加態度（70%）、期末レポート（30%）

【教科書】

なし。プリントを配布する。

【参考書】

講義の中で、随時紹介する。

【学修の準備】

配布したプリントについて予習・復習し、理解を深めること。（予習復習4時間）

【免許法施行規則に定める科目区分等】

「特別支援教育領域に関する科目」の「心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目」に該当する。
中心となる領域：肢体不自由者 含む領域：知的障害者・病弱者

【実務経験】

- ・理学療法士として特別支援学校勤務

【実務経験を活かした教育内容】

- ・特別支援学校での理学療法士として教諭との協働の実務経験を活かし、実践的教育を行う。